

## 平成 2 8 年度若年層関連事業について

- 若者向け自殺予防講演会について
- 児童生徒の自殺防止サポート活動等について
- 分科会での主な意見



## 若者向け自殺予防講演会について

### 【実施実績】

<平成27年度>

こころといのちの講演会 悩むってあたりまえ～目指せ！ありのままマイスター～

日時：平成28年3月24日（木曜日）14時～17時30分

場所：東洋大学白山キャンパス 2号館16階スカイホール

企画・運営協力：東洋大学社会学部社会福祉学科 加山弾准教授ゼミ

共催：文京区

内容：第一部 講演 石井 綾華 氏（NPO法人Light Ring.代表理事）

「自殺うつ予防～若者が若者を支える仕組みづくり～」

大野 裕 氏（一般社団法人認知行動療法研修開発センター理事長）

「こころを元気にする、「こころのスキルアップ・トレーニング」

第二部 学生によるワークショップ（学生以外は傍聴）【東洋大学等34名参加】

（1グループ5～6人で事例検討・発表し、情報を共有）

参加人数：105名【学生34名、都民60名、関係団体2名、行政職員9名】

（アンケート結果概要）

- ・ 講演について、非常に良かった・良かったと回答した人が90%
- ・ ワークショップについて、非常に良かった・良かったと回答した人が61%
- ・ 大学生による企画・運営形式について、良かったと回答した人が87%
- ・ 参加者の年代は、30代までが53%、40代以上が39%（無回答あり）
- ・ 主な意見は、「若い人の視点で共感できた」「説得力があった」、「身近な事例で考えやすかった」等

<平成28年度>

こころといのちの講演会「若者の自殺予防を考える」

日時：平成28年9月13日（火曜日）14時～17時

場所：東京都庁5階 大会議場

企画・運営協力：大正大学人間学部社会福祉学科 坂本智代枝教授ゼミ

共催：豊島区「若者のいのちを守る」ハートプロジェクト事業

内容：

第一部 講演 根岸 親 氏（NPO法人自殺対策支援センターライフリンク 副代表）

「生きづらさへの処方箋～若年層の自殺の実態と今、私たちにできること～」

第二部 学生によるワークショップ（学生以外は傍聴）【大正大学等48名参加】

（1グループ6～7人で事例検討・発表し、情報を共有）

参加人数：163名【学生72名、都民39名、関係団体7名、行政職員45名】

（アンケート結果概要）

- ・ 講演について、非常に良かった・良かったと回答した人が95%
- ・ ワークショップについて、非常に良かった・良かったと回答した人が73%
- ・ 大学生による企画・運営形式について、良かったと回答した人が79%
- ・ 参加者の年代は、30代までが46%、40代以上が33%（無回答あり）
- ・ 主な意見は、「分かりやすかった」、「様々な人の意見を聞けて良かった」等

アノコニ会高麗湖ヲ遊自竹所古昔

【題名】

＜漢字＞

一 昔人トマ会高麗湖ノ遊自竹所古昔ニシテ...

（漢字）...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

＜漢字＞

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

自殺防止！東京キャンペーン「こころといのちの講演会」

# 若者は何故「死にたい」に追い込まれるのか — ネットに助けを求める若者達 —

<講師>

**伊藤 次郎 氏** (NPO 法人 OVA 代表理事)

精神保健福祉士。若者自殺対策全国ネットワーク発起人・共同代表。  
学習院大学法学科卒業、人事コンサルティング会社、精神科クリニック勤務を経て、マーケティングの手法で自殺ハイリスクの若者へのアウトリーチをしようと「インターネット・ゲートキーパー(夜回り 2.0)」の手法を開発・実施し、NPO 法人 OVA を設立した。



平成 29 年  
**3 月 8 日** (水)  
15 時 ~ 17 時  
※開場 14 時 30 分

<場所> 東京都庁第一本庁舎5階 大会議場

※入庁の際には、手続きが必要です。御協力をお願いいたします。

<対象> 都内在住・在勤・在学の方

入場無料



イラスト：細川貂々

<定員> 約200名 (先着順)

<申込方法> **3月3日(金曜日) 17時まで**に以下のどちらかの方法でお申込みください。

FAX：下記の必要事項を御記入の上、**03-5388-1427**まで

メール：下記の内容を御記入の上、**S0000282@section.metro.tokyo.jp** まで

	参加者氏名	電話番号	所属等 (該当する項目に○をつけ、所属を明記してください。)
1	(ふりがな)		学生・関係団体・行政職員・その他 (所属： )
2	(ふりがな)		学生・関係団体・行政職員・その他 (所属： )
3	(ふりがな)		学生・関係団体・行政職員・その他 (所属： )

※収集した個人情報は、本講演会に係る連絡にのみ利用いたします。



## 9月のキャンペーン中の広報について（参考）

都庁第一本庁舎1階アートワーク台座（都の講演会周知ポスターとともに九都県市のポスター展示。9/1～7）



**9月は東京都自殺対策強化月間です！  
「自殺防止！東京キャンペーン」**

こことこのちの講演会  
**「若者の自殺予防を考える」**

<日時> 平成28年9月13日（火）14時～17時 13時30分開演  
<場所> 東京都庁第一本庁舎6階 大会議場  
<対象> 都内在住・在学の学生、大学・民間団体・自治体職員、一般市民  
<定員> 前200名

講師 藤原 孝雄  
「生きづらさへの処方箋  
～若年層の自殺の予防と今、私たちにできること～」  
NPO法人自殺対策支援センターライフリンク 副代表

講演 藤原 孝雄  
大学生が困難の人へのサポート方法と自殺予防のアイデアについて考えます。

<企画・運営協力> 大正大学人間学総合社会学部 坂本副学長 西根 健二  
<主催> 東京都  
<共催> 豊島区「若者のいのちを守る」ハートプロジェクト事業

※申込方法等の詳細はホームページをご覧ください。

**東京都自殺相談ダイヤルのお知らせ**

「東京都自殺相談ダイヤル」から「さがるめい（0570）087478」まで  
**0570-087478** 14時～翌朝5時30分・年中無休  
「誰かがいない・・・」「この世から消えてしまいたい・・・」  
つらい思いを一人で抱え込まないで、一緒に乗り越えませんか。

9月12日（月）から19日（金）5時～24時  
受付時間延長期間です！

※0570で知るナビダイヤルは携帯電話の通話料がかけ放題プランの料金が適用です。

東京都福祉保健局

新宿駅西口デジタルサイネージ（新宿駅西口広場  
大型画面と地下通路の画面に一定時間表示。8/19～9/30）



**9月は自殺対策強化月間です！**

多くの首都圏住民は、通勤・通学等のため都県市の区域を越えて活動していることから、九都県市（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市及び相模原市）が共同で自殺対策のキャンペーンを実施しています。

九都県市「自殺対策キャンペーン」

渋谷DHC channel（渋谷スクランブル交差点前の大型画面に一定時間表示。8/26～9/1）



**DHC**

凹んだら、  
きっと誰かが空気を  
入れてくれるから。  
人間って、そういうこと。

0570-087478

**DHC**





# 児童生徒の自殺防止サポート活動等について

## ■児童生徒の自殺防止サポート活動について

概要 事業者が児童生徒の問題行動等には、自殺直前のサインが隠れている可能性があることを認識し、児童生徒に声掛け等を行うことにより、自殺防止に寄与。

都は、自殺対策強化月間のPRや店舗従業員向けコミュニケーション等を配布し、事業者を支援。

主な対象者 店舗従業員等が業務の中で関わる児童生徒

実施事業者 都内コンビニエンスストア 8社 (約7500店舗)

(株)セブンイレブン・ジャパン、(株)ローソン、(株)ファミリーマート、ミニストップ(株)、  
山崎製パン(株)、(株)ポブラ、(株)スリーエフ、国分グローサーズチェーン(株)

\* 青少年・治安対策本部「ながら見守り連携事業」と連携して実施

事業開始 平成29年2月1日

## ■児童生徒の場の在り方について

概要 親や学校に悩みを相談できず、自分の居場所が見いだせず、自殺に至る可能性がある小中学生が放課後や休日等に気楽に立ち寄り、特に何かしなくても良い、自分が存在しているのも良いと思える場の在り方について検討。

新たな居場所の創出だけでなく、既存事業(施設)等を利用した事業を展開。

区市町村連絡会や民間団体説明会での普及啓発、区市町村や団体へ個別に働きかけを行い事業を促進。

地域自殺対策強化交付金を活用し、下記事業を実施する区市町村や民間団体を支援。

① 既存事業(施設) 活用例

対象施設：子供の学習支援事業(生活困窮者自立支援制度)、子供の居場所創出事業、児童館 など

対象事業：子供向け自殺予防教育の実施、専門相談窓口の設置、職員向けゲートキーパー研修の開催 など

② 新たな居場所設置例

遺児支援事業、行き場のない子供が利用するフリースペースなどの設置、運営(会場使用料、講師謝礼等)

事業開始 平成29年度

■ 若年層向けホームページの開設

『東京都どことこのほっとナビ ~ここナビ~』

概要 要 パソコンやスマートフォンを利用し情報収集する若者が多いことから、キャラクターやデザインを変更。検索の多い『しにたい、助けて、シカト、生きる意味』などのキーワードを盛り込み、表示されやすいよう工夫。悩み別の相談窓口や自殺について的基础知識等、簡単に検索できるよう都の自殺総合対策に関する情報を集約。

開設予定日

平成 29 年 3 月 1 日

\*1/25 『平成 29 年 3 月 自殺防止！東京キャンペーン』と一緒にプレス済

【ここナビHP・バナーイメージ】

自殺総合対策  
東京都どことこのほっとナビ ~ここナビ~

【児童生徒自殺防止サポート活動マニキュアル】

## 自殺総合対策東京会議若年層対策分科会での主な意見（平成28年度）

日時：平成29年1月23日(月)15時半から

会場：東京都庁第二本庁舎10階204会議室

次第：(1) 東京の自殺の現状について

(2) 自殺対策の取組に係る委員からの報告

(3) 区市町村及び民間団体の若年層対策の取組について

(4) 平成28年度若年層関連事業について

(5) 分科会での審議状況について

(6) 自殺対策基本法の改正について

### 【主な意見】

- インターネットを活用した広報の工夫が重要である。
- 児童生徒の自殺防止サポート活動について、良い取組だと思いが、今後、ポスター掲示や相談窓口リーフレットの手渡しなど、事業内容の充実や事業者の協力につなげてほしい。
- 不登校の子供に確実に必要な情報が伝わるよう、学校は努力する必要がある。
- 不登校の子供に対し、家庭問題から関わる機関からアプローチするなど、多方面からの対応ができるよう地域が連携する必要がある。

### <平成25~27年度分科会での意見の施策への反映状況>

#### 【若者向け相談窓口の周知】

- ・ 保健所と学校、専門機関が協力し、小6・保護者向け普及啓発小冊子及び教職員向け解説書を作成・活用（平成26年度から）
- ・ 学生向けハンカチ型リーフレットの作成・配布（平成28年度から）

#### 【児童・生徒の場の在り方に関する検討】

- ・ 外部委員を含めたPTを開催（平成28年度2回開催）

#### 【大学生等を対象とした講演会開催】

- ・ 大学生の協力のもと、講演と大学生によるワークショップの2部構成の講演会を開催（平成28年3月、9月開催。延べ268人参加）

#### 【インターネット等を活用した広報】

- ・ 局のHPやツイッターを利用し、キャンペーンや講演会を周知
- ・ 検索連動型広告（自殺に関連した語句をインターネット検索すると、都HPの広告を表示）を実施（平成28年3月から。強化月間中）
- ・ 若者が利用しやすい局HP「こことあのほっとナビ」を開設（平成29年3月から）
- ・ 渋谷・新宿駅前の大画面等による広報を実施（平成28年9月から）

<p>1. 目的・意義</p> <p>2. 対象</p> <p>3. 実施期間</p> <p>4. 実施場所</p> <p>5. 実施方法</p> <p>6. 実施回数</p> <p>7. 実施担当者</p> <p>8. 実施結果</p> <p>9. 実施上の留意点</p> <p>10. その他</p>	<p>1. 目的・意義</p> <p>2. 対象</p> <p>3. 実施期間</p> <p>4. 実施場所</p> <p>5. 実施方法</p> <p>6. 実施回数</p> <p>7. 実施担当者</p> <p>8. 実施結果</p> <p>9. 実施上の留意点</p> <p>10. その他</p>
--	--

- 1. 目的・意義
- 2. 対象
- 3. 実施期間
- 4. 実施場所
- 5. 実施方法
- 6. 実施回数
- 7. 実施担当者
- 8. 実施結果
- 9. 実施上の留意点
- 10. その他

1. 目的・意義

2. 対象

3. 実施期間

4. 実施場所

5. 実施方法

6. 実施回数

7. 実施担当者

8. 実施結果

9. 実施上の留意点

10. その他